

T TABLE FOR TWO+Tohoku

東北だより

Vol. 1 2011年9月発行

福島県相馬郡新地町の仮設住宅に 食料品パッケージを配達

配達の前日に都内で箱詰めした食料などを4トントラックに満載して新地町を訪問し、9か所の仮設住宅のうち2か所に食料品パッケージを届けました。入居されている方も積み下ろし作業に加わってくださいました。

町内では役場近くのスーパーなどが再開していますが、仮設住宅からは離れており不便な生活を余儀なくされています。特に自動車のない家庭では移動がままならないケースも多く、お米や乾麺、調味料などの詰まった食料品パッケージは、普段使いできるものばかりで、喜んでいただけました。

今回、食料品パッケージをお届けできなかった地域には、9月末の訪問・配達を予定しています。

東北地方の仮設住宅

約5000世帯に
食料品を届けています。

(2011年9月13日現在)

セカンドハーベスト・ジャパンでは震災直後から緊急支援も
行っており、仮設住宅への支援は6月から継続しています

TABLE FOR TWO + Tohokuプログラムでは、食堂やカフェでヘルシーメニューを食べると、その代金の一部が寄付となります。

ご寄付の半分は東日本大震災の被災地でNPO法人セカンドハーベスト・ジャパンが行っている食料支援に、残りの半分はTABLE FOR TWOがこれまで支援してきたアフリカの学校給食支援に充てられます。

東日本大震災支援では、被災地である岩手県、宮城県、福島県にて仮設住宅で生活されているご家庭に食料品パッケージを届けています。

今回は9月9日に訪問した福島県相馬郡新地町の様子をお伝えします。

TABLE FOR TWO
+Tohoku

南三陸町
●
仙台 ●
●
● 新地町
●
南相馬市

【新地町 基本情報】

宮城県との県境にある海沿いの街。震災前には46km²に約8,000人が暮らしていた。3月11日の地震直後、10メートルを超す猛烈な津波により、コンクリートの橋や、電車、駅も破壊され、町の面積のおよそ5分の1が浸水しました。2011年9月現在、600戸弱が仮設住宅に入居されています。

お米や麺類、調味料など日持ちのする食料品を新地町の2か所の仮設住宅
(広畑仮設住宅、新林仮設住宅)の計142戸にお届けしました (2011年9月9日)

「食料品や生活用品など、継続的な支援が必要です」

「震災直後には、全国から物資支援が届いたり、ボランティアの皆さんが駆けつけてくださいました。時間が経つにつれて物資支援が減ってきています。仮設住宅入居者には職を失ってしまった方も多く、食料品や生活用品など基本的な物資の継続的な支援が求められています」

新地町 企画振興課 西牧直(すなお)さん

東京の大学を卒業後、故郷の新地町に戻られた西牧さんは、ご自身も仮設住宅に住まわれながら、復興計画の策定や仮設住宅入居世帯への支援に奔走されています。

